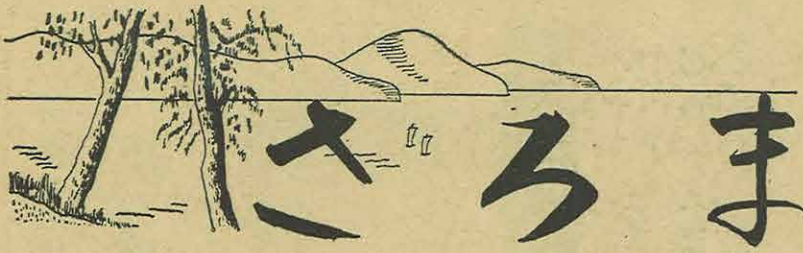


40. 3. 15 発行  
 発行人 船木長一郎  
佐呂間町長  
 編集人 船木長一郎  
 庶務課庶務係 船木長一郎  
 印刷人 船木長一郎  
 印刷所 佐呂間印刷

世帯数	2,881
人口	13,480
男	6,797
女	6,683
2月末日住民登録人口	



# 造材

春とはいえ、見渡す限りの白雪  
 まだ寒さのきびしい山で、力強い  
 チェンソーのひびくなか、今日も  
 冬山造材に励む人たちの姿が見ら

れます。  
 昔は幕政の頃から運上山と云つて小規模な建築用材や薪炭材を出していたものでしたが、当地方では明治三十五年マツチ軸木原木として白揚樹を伐採したのが始まりで、その後浜佐呂間に製軸工場が建設され附近の山林を伐採、年々盛んになり当町の経済に大きなうねりをおこすようになりました。

本町の山林は総面積の約六割に当る二万三千余ヘクタールで、これから生産される素材は約四億円をこえ佐呂間町における重要産業の役割を果たしております。  
 最近資源の減少に伴い計画伐採が行われ、一方植林が奨励され、年々国有林、民有林を問わず植林がなされていることは、資源造成のためにもよるこぼしい限りです。



(若佐銅山の沢で二、二八撮影)

## 農電施設 北海道電力に移管



(毎号綴じて保存して下さい)

佐呂間町電気利用組合の自家用共同受電施設が、北海道電力株式会社に移管、その移管記念式典が二月十五日佐呂間公民館において盛大に挙行されました。  
 戦後生活文化の向上と生産力の増強を図るべく町内無電灯地帯であった西富の一部、東、北、知来、富士の各部落が結果して佐呂間町電気利用組合を設立、昭和二十五年十二月チーゼル機関による自家小発電を開始、送電して以来今日まで十五年、この間自家用共同受電施設に切替、当時の若佐村、藤の台への送電、仁倉電気利用組合の合併、送配電線の全面的改修が行われ、三十九年十二月には農山漁村電気導入法に基く改良工事が、工費三千四百円余をもつて完成、晴れの北海道電力株式会社への移管を完了しました。

- つた次の方に表彰状、感謝状が贈られました。
- ◆佐呂間町長表彰 船木長蔵
  - ◆佐呂間町電気利用組合長表彰 船木長一郎、為広定市、黒岩寛策、川滝惣五郎、津田市蔵、上高、武片平俊雄、垂水弘良、黒沢謙、故梶利助、故増子喜介、故吉川久太郎、西田要造、土田正、井上米蔵、相田政之、太田稔、森 國光
  - ◆同感謝状 吉川久治、部田菊一、渡部福宣、山本長太郎、谷口公敏、島沢吉郎、嶋井仁司、田中政雄、増子喜一、長屋麻一、大塚市郎、村山秀夫、宮田久子
  - ◆農協組合長感謝状 面 邦夫 (以上敬称略)

# 昭和三十八年度 決算報告

昭和三十八年度の各会計決算は町監査委員、及び町議会決算審査特別委員会の審査を経て決算を終えましたので、この内容について佐呂間町財政事情説明書の作成及び公表に関する条例に基づきこれを公表します。

## 一 般 会 計

才入 二億五、〇六五万二、〇四五円  
才出 二億四、〇一〇万九八五円  
残金 一、〇五五万一、〇六〇円

昭和三十八年度一般会計決算額才入二億五、〇六五万二、〇四五円、才出二億四、〇一〇万九八五円となり、差引残金一、〇五五万一、〇六〇円となりました。このような結果で昭和三十八年度の決算を終えたわけですが、才入才出差引残金は一、〇五五万一、〇六〇円と多額な剰余金が出ておりますが、この主な原因は才入において町税が三七九万七、六四五円地方交付税で一〇六万一、〇〇〇円、使用料で四〇万八、四九五円と予算額に比較して約五二六万七千円が収入増となり、また才出

の予算執行において不用額を生じたために剰余金が多額となつたものであります。また才出予算において予算不用額二、一〇三万一、〇一五円と多額な不用額を生じた主なる理由としては、紋別畜産センター豚増殖資金の貸付がなかつたものでこの支出一、二〇〇万円が不用となつたことなど大がきなる理由となっております。

### 昭和38年度一般会計決算

才 入		才 出	
款	予 算 額	決 算 額	予 算 額 対 決 算 額 比
町 税	39,164	42,962	107.1
地方交付税	106,413	107,474	101.0
公営企業及財産収入	7,208	5,026	69.7
使用料及び手数料	7,266	7,674	105.6
国庫支出金	18,073	18,325	101.4
道支出金	9,877	9,672	97.8
寄附金	500	500	100.0
繰越金	9,641	9,642	100.0
繰入金	8,125	8,125	100.0
雑収入	34,665	21,052	60.7
町債	20,200	20,200	100.0
合 計	261,132	250,652	96.0

款	予 算 額	決 算 額	不 用 額	決 算 額 対 予 算 額 比
議会費	7,202	7,117	85	97.6
役場費	42,959	42,828	131	99.7
消防費	4,253	3,905	348	91.8
土木費	18,681	18,088	593	96.8
教育費	85,810	83,622	2,188	97.4
社会及労働施設費	15,499	15,199	300	97.4
保健衛生費	2,534	2,072	462	81.8
産業経済費	44,862	30,471	14,391	67.9
財産費	3,972	3,147	825	79.2
統計調査費	228	188	40	82.9
選挙費	1,565	1,441	124	92.1
公債費	15,976	15,796	180	98.3
諸支出金	17,528	16,227	1,301	92.6
予備費	63	-	63	0.0
合 計	261,132	240,101	21,031	91.9

### 昭和38年度町税納入状況

単位千円

税 目	調 定 額	収 入 額	収 入 歩 合
町 民 税	9,814	9,680	98.6
滞納分	995	171	17.2
固定資産税	14,359	13,995	97.5
交付金	5,146	5,146	100
滞納分	4,048	718	17.8
軽自動車税	1,146	1,101	96.0
滞納分	88	28	31.4
電気ガス税	1,894	1,894	100
タバコ消費税	6,373	6,373	100
木材引取税	3,830	3,749	97.9
滞納分	248	91	36.8
旧法による税	163	16	10.0
合 計	42,562	41,938	98.5
滞納分計	5,542	1,024	18.5
計	48,104	42,962	89.3

昭和38年度現年度分調定額より国、公社等交付金、納付金、タバコ消費税、電気ガス税や、特別に財課される木材引取税を除いた額を昭和38年4月の住民登録の人口、世帯でそれぞれ除いた額は次のとおりです。  
1世帯当り (2,856世帯) 8,865円  
1人当り (15,332人) 1,651円

### 住民負担の状況

住民が直接負担する町税収入及税外収入は町財政の基本となつていものであるが、昭和三十八年度の町税収入は全体の一七、一%に当る四、二九六万二千円で使用料手数料などの税外収入は七六七万四千円計五、〇六三万六千円が住民が直接負担した額となつております。町税の収納率は昭和三十八年現年度分九八、五%滞納分一八、五%となつておりますが、これを昭和三十七年度の収納率と比較しますと一、三%上昇しております。

### 建設事業費支出の状況

才出のうち投資的経費として支出された建設事業費は、全体の約

三〇%に当る七、二〇〇万七千円が支出されておりますが、この内容は消防費で一二六万七千円、道路、橋梁、土木機械の購入など土木費で一、一三六万八千円、佐呂間小学校の改築、高等学校校舎、屋体の新増築など教育費で四、三三五万一千円、公営住宅の新築、保育所の新設、失業対策事業など社会労働費で一、三四五万五千円保健衛生費一七万五千円、産業経済費二〇九万九千円、財産費で二九万二千円が支出されておりますこの支出の財源内訳を見ますと国や道の補助金一、六二〇万八千円地方債いわゆる事業を行うための借入金二、〇二〇万円、寄附金その他特定財源一五〇万円、残りの三、四〇九万九千円が一般財源として税収入或は交付税などから支出されております。

# 特 別 会 計

## 簡易水道事業



### 佐呂間簡易水道

昭和38年度予算額	5,130,000円
収入済額	6,403,189円
支出済額	4,525,395円
差引残額	1,877,794円
38年度使用料収入	3,153,975円
給水人口	4,070人
給水栓数	598栓

### 浜佐呂間簡易水道

昭和38年度予算額	17,894,000円
収入済額	17,951,262円
支出済額	17,633,567円
差引残額	317,695円
昭和38年度新設(昭和38年11月3日完成)	
新設事業費	13,778,000円
38年度使用料収入	336,350円
給水人口	694人
給水栓数	154栓

## 町有林事業



昭和38年度予算額	42,863,000円
収入済額	46,526,374円
支出済額	42,491,109円
差引残額	4,035,265円

### 38年度事業実施状況

立木処分	10,321立方メートル
直営生産素材処分	5,799立方メートル
売払総収入	40,805,975円
植林事業	23.32ヘクタール 69,660本
天然下種	79.26ヘクタール
下刈	328.85ヘクタール
野そ駆除	294.83ヘクタール

## 地方債の現債高

地方債は町のいろいろな事業を行うための資金として、政府或は公庫などから借入している長期資金で昭和39年3月末日現在の借入残額は次のとおりとなっております。

総額 1億2,194万1,322円

### 借入先別現債高

大蔵省資金運用部	41,739,572円
郵政省簡易保険局	67,625,427
公営企業金融公庫	2,000,000
農林漁業金融公庫	3,100,000
公立学校共済組合	4,800,000
厚生省	1,276,323
北海道	1,400,000

### 使途別現債高

土木債	8,898,049円
教育債	54,936,262
公営住宅債	10,130,101
辺地整備債	1,400,000
その他	16,024,536
町有林事業債	3,896,393
国保事業債	1,399,418
と場事業債	6,771,345
簡易水道事業債	18,485,218

## 国民健康保険事業



昭和38年度予算額	20,532,000円
収入済額	22,878,033円
支出済額	19,859,348円
差引残額	3,018,685円
加入世帯	1,688
被保険者数	8,968人

### 給付の状況

療養給付	14,171件	15,033,813円
療養費	166件	227,912
助産給付	121件	240,500
葬祭給付	44件	44,000
給付総額		15,546,225円

### 国保税の納入状況

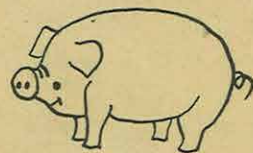
(単位千円)

区分	調定額	収入額	収入歩合
現年度	9,148	8,816	96.4
滞納分	2,821	469	16.6
計	11,969	9,285	77.6

### 国保税現年度分

加入世帯1世帯当り	5,419円
被保険者1人当り	1,020円

## と場事業



昭和38年度予算額	2,800,000円
収入済額	2,945,281円
支出済額	2,580,432円
差引残額	364,849円

### 昭和38年度と場利用状況

と殺頭数	4,555頭	
使用料収入	2,496,325円	
豚	3,363頭	1,849,650円
とく	779	400,975
めん羊	166	66,400
山羊	3	1,200
小馬	114	74,100
馬	53	42,400
牛	77	61,600
計	4,555	2,496,325

# デンマーク便り(2)

デンマークエビヒビチزند  
ケルデアルヘイコン・ハンセン方

福田 幸輝

故郷では昨年再び冷害凶作に  
終つてしまつた由、一時の氣象条  
件ですべて左右される私達の北方  
農業に、決して恵まれた立地条件  
のもとに置かれていないデンマー  
クの豊かな農業をまのあたりに見  
るにつけ今更のように強く考えさ  
せられるものがあります。

農家の皆様には心から御見舞を  
申し上げますと共に、これを更に  
一つの礎石として一歩進み、今年  
の豊かな稔りをお祈り致します。

私もこちらへまいりまして毎日  
元気で過しております。いま故  
郷では大変な雪だそうです。思い  
出しておられます。デンマークでは  
まだ雪が降つておりません。毎日  
ミソレと雨のぐつぐつした天気が続  
いておられます。でも今冬は異変だ  
そうで例年にはもう雪が降つてい  
るそうです。今はようやくブラウ  
イングも終り、あと防風垣(林)  
の手入が少し残つていただけでこ  
れが終りますと外の作業は終りに  
なります。一月に畑を耕すとは、  
北海道ではとても考えられませ  
ん二十五町程の耕耘をほとんどま  
かされました。一月のデンマークは  
日の出八時半、日没四時ですが、  
約一ヶ月間雨の合間に朝早くから  
夜はライトを灯けて寒さとたたか  
いながら行う作業はなかく大変  
でしたがすつかり上達して主人夫

婦からも非常に喜んでもらいま  
した。今の家では四月に契約が切  
れることになつてはいますが、是非  
続いて手伝つてほしいと望まれて  
おります。とに角種播きから収穫  
までの農作業を一切委ねると云  
われておりますが、全て機械作業  
それも、たて三〇〇米横の長さは  
一畝もある畑ではこちらの畑と隣  
りの畑では話も出来ず一寸息が  
まりそうです。それにデンマーク  
に來た目的の一つに多くの所を見  
より多くの人と接して多くの体験  
を得るためには変つた場所でも勉  
する方が良いと考へたり目下  
下思案中です。

ではこちらですごしたデンマーク  
のお正月の様子をお知らせしま  
す。こちらでは三十一日大晦日が大変  
な賑わいで町では一夜中酒をくみ  
かわし、ダンスを楽しみ一年一度  
の大きな騒ぎをするのですが、私  
はカールの家に招待されデンマー  
クの一軒の大きな大晦日を味わいカ  
ールや近所の若者たちと飲み明か  
しました。十二時まではトランプや  
TVを見たりして日本と同じです  
が、十二時になりまして家族揃つ  
て乾杯新年を祝ひその後が大変、  
耳が痛くなるようなカンシヤク玉  
を破裂させ火花を上げたりしてほ  
んとに賑やかです。またこの夜  
は悪戯が大流行私もカール達と一

緒に大分悪太郎をしました。二時  
頃までは特に寝ている家の玄関に  
カンシヤク玉を仕掛けて廻りまし  
たがなんだか気の毒で昼間買った  
カンシヤク玉をどうも使いませ  
んでした。家に帰つたのは五時頃  
朝はボーとして乳しぼり、牛も寝  
不足気味危く集乳車におけると  
ころでした。しかし元日は日本の  
様に正月らしくなく平日と変らず  
イモにパン、肉にバター、チーズ  
のみの普段の食事と変わりなく一  
ものたりなです。でもデンマー  
クのクリスマスツリーが立派だと  
自慢されたので、日本の門松はも  
つと立派だと話した手前門松をた  
てるにも竹はなし、えん麦ワラと  
ちり紙で飾りを作りみかんは有  
りませんが大きな日の丸を上げて  
一人気を吐きました。

つきに当地に來てからの日記の一  
部を披露して生活の一端をお紹  
介します。

一月元日  
新年おめでと、畜舎当番夜明  
かしがたたり一日中ねむい。しか  
し数々の悪太郎振りや、愉快な体  
験又一步デンマークとそしてカー  
ルとの親交が深まる。部屋の窓か  
ら輝き見える日の丸に向つて静か  
に一年の計をたてる「前進」  
一月二十日  
ブラウイング(秋耕)を全部終  
了、今夜は喜びが胸に満ちてい  
ると思えば二十五町程のビートとコ  
ーラの跡地悪天候の中を一月月近  
く殆んど自分一人でなし終えた作  
業は当初のビート収穫よりも苦心  
した。十四日の日誌に「頑張れ」  
十六日は「身を切る寒気に泣ける  
」とだけ書いてある。然し苦心し  
て成し遂げた喜びはそれにも増  
して絶大、一つの自信と共にかけ

「才未たすけあい 運動」の結果報告

めぐまれない人びとにすこし  
もよい正月を才未たすけあい運  
動を実施しましたところ町民のあ  
たたかい協力により終了しました  
のでその結果を御報告します。

義捐金 一二万五、一〇二円  
(町費二万五千円含む)  
衣料品 四〇八点  
配分内訳

◎町内困窮世帯 三十八世帯に対し一〇万七、六  
〇〇円を各世帯構成人員により配  
分する。  
◎施設入所者 老人ホーム、教護施設におられ  
る町内出身者に対し一人一、〇〇  
〇円計一万二〇〇〇円贈る。  
◎長期療養者 長期療養者十二名に三、〇〇〇  
円タオルを購入し贈る。  
◎義捐金の残金二、五〇二円は冷  
害義捐金に引継ぎました。  
◎衣料品は十九世帯に対し、それ  
ぐ世帯に見合うものを配分する

社会福祉協議会  
に篤志寄附

このたび次の方々から恵れない方  
々の援護資金に一金一封の篤志寄  
附があつた。 敬称略  
佐呂間町字若津田勇藏(遺曆)  
" 字西富村山秀夫(全快)  
" 字共立田宮定夫  
(香典返し)

「広報さるま」は、町政のいろ／＼なことを知つていただくため、毎月一回発行し、自治会長を通じて  
全世帯に配付しております。みなさまの建設的な御意見や質問は庶務係へお寄せください。

